

小・中学校の先生方へ

～博物館利用の手引き～



福井市立郷土歴史博物館

見学プランのご案内

①博物館と養浩館を学芸員の解説付きで見学する。

所要時間：75分

（概要説明と移動15分、博物館30分、養浩館30分）

20～30人に1人ずつ、学芸員またはボランティアがついて解説します。

②博物館と養浩館を自由見学で回る。

所要時間：60分～90分

（概要説明5分、自由行動、希望によりワークシート利用）

③江戸時代の武士に変身体験＋博物館・養浩館の解説付き見学

所要時間：変身体験約30名で約60分＋①の所要時間

①にへんしん越前屋の体験を加えます。

④江戸時代の武士に変身体験＋博物館と養浩館の自由見学

所要時間：（人数による）90～150分

（概要説明→展示室を自由行動＋その合間に変身体験→養浩館見学）

②にへんしん越前屋の体験を加えます。最大30人×2クラス程度までお受けできます。5～6人のグループに分かれて自由行動とし、グループごとに入れ替わり変身します。

⑤福井城跡を散策して、合わせて博物館と養浩館を見学する

所要時間：2時間半～3時間程度

（散策1時間半程度、博物館＋養浩館見学）

福井駅周辺の史跡を分かりやすくまとめた「歴史なびマップ」を持って散策し（自由行動）、その前後に博物館に立ち寄りより深く学びます。

※その他組み合わせなどご希望がある場合は、打ち合わせの上、決定します。

【昼食について】

博物館の館内は原則飲食禁止となっておりますので（ロビーでの水分補給はできます）、隣の[御泉水公園](#)（芝生の広場です）での食事となります。

雨天時は博物館周囲の庇のある部分をご利用ください。

【バス駐車場について】

バス専用駐車場が[養浩館庭園駐車場](#)にありますので、そちらをご利用ください。

台数が限られていますので、利用申込書をご提出の際に、所定の欄にバス駐車希望の旨明記してください。

利用が決まったら

①日程調整のお問い合わせ

お問い合わせは、電話（0776-21-0489）でお受けします。

お申し込み（日程決定）のめやす

- ・展示解説が必要or体験プログラム希望の場合・・・2週間前まで
 - ・短時間の見学や自由な学習の場合・・・・・・1週間前まで
- できるだけご希望に添いたいと思いますので、まずはお問合せください。

②利用申込書の提出

日程が決定了ら、利用申込書をご提出ください。

（当館ホームページのリンクからオンライン提出できます）

利用申込書のご提出により、引率・下見にお越しの先生も観覧料が免除されます。

利用料金について

小中学生の観覧料は無料です。観覧料免除申請書は必要ありません。

なお、体験学習（まが玉作り等）は人数分の材料費が必要となります。

詳しくはお問い合わせください。

③事前打ち合わせ

ご提出いただいた利用申込書をもとに、電話または対面で事前に打ち合わせを行い、使用する教材の準備や当日のスケジュール確認を行います。

④質問シートの提出

事前に児童・生徒からの質問がある場合はご提出ください。

（当館ホームページのリンクからオンライン提出できます）

当日の質疑応答がスムーズにできるよう事前に資料などをご用意できます。

⑤学習当日

事前打ち合わせに沿って見学・体験学習・調べ学習のお手伝いをします。

⑥アンケートの提出

当館の学校との連携活動をよりよいものに発展させていくため、ご利用後のアンケートにご協力ください。（当館ホームページのリンクからオンライン提出できます）

また、学校へ帰られてからの児童・生徒の皆さんの感想文や、授業で使用了発表資料などがありましたら、当館にお送りください。今後の活動の参考にさせていただきます。

博物館利用の方法①

展示見学のご案内

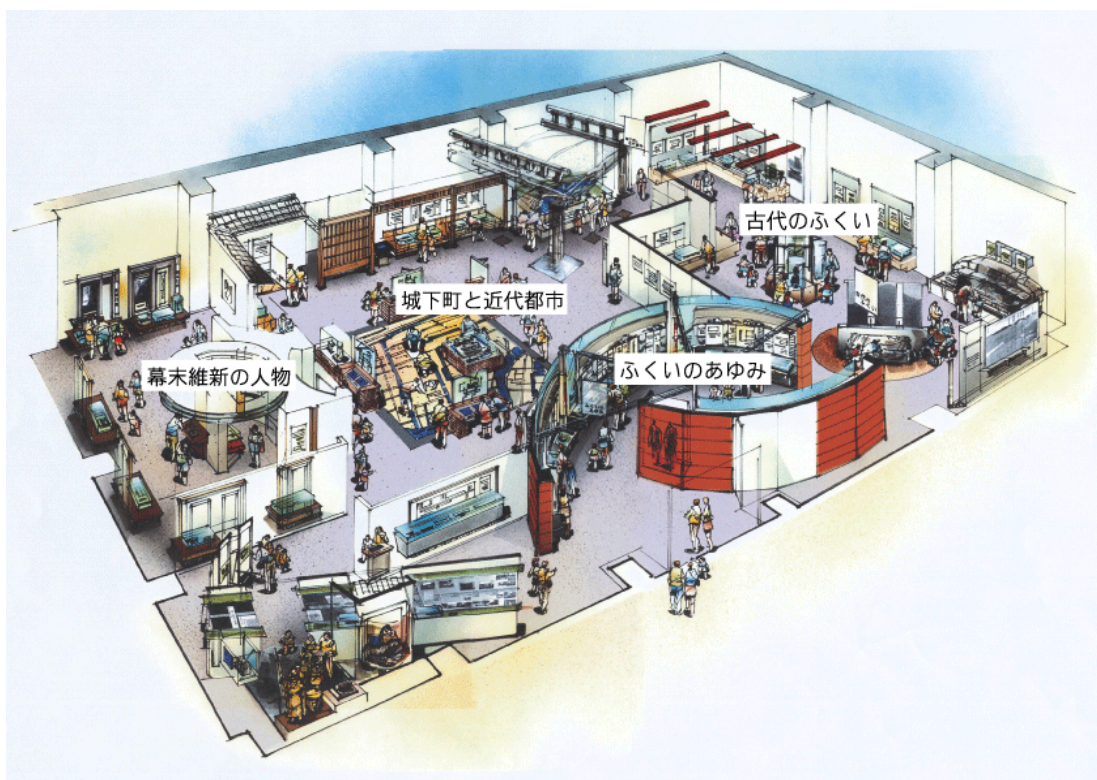
博物館は福井の歴史を知る上で欠かせない資料の宝庫です。

しかし、解説の文字や用語がむずかしい箇所もあるので、児童・生徒が興味を持って展示室を巡ることができるように、ワークシートやスタンプラリーなどを用意しています。

また、ご希望によって学芸員による解説を行います。

常設展示室のほか、松平家史料展示室・館蔵品ギャラリー・企画展示室は随時展示替えがあります。館外には福井城舎人門遺構が、館の隣接地には養浩館庭園があります。

＜常設展示室＞・・・４つのゾーンに分かれています。



「ふくいのおゆみ」

福井の縄文時代から現代までの歴史を大まかに概観します。縄文土器から人絹取引所の看板まで、各時代を象徴するモノが並んでいます。江戸時代の紙製人体解剖模型「キュンストレーキ」（博物館のロゴマークにもなっています）もここに立っています。

「古代のふくい」

足羽山の古墳から出土した笏谷石の石棺や副葬品をはじめ、金製の耳飾（天神山7号墳）や三角縁神獣鏡（花野谷1号墳）などから、古墳時代の技術を知る事ができます。

また奈良時代に現在の福井県運動公園あたりにひらかれた東大寺の荘園「道守荘」の絵図（実大複製）や、荘園の中での出来事などを再現したジオラマが1,200年以上前の福井を想像させてくれます。

「城下町と近代都市」

越前松平家の城下町として繁栄した江戸時代の福井城、そして明治・大正を経て近代都市として大きく変貌していく福井の市街地の様子を見ることができます。

半石半木で有名だった九十九橋の風景模型や実物の橋脚の大きさにはきっと驚かされることでしょう。福井城本丸の復元模型を観察し、大きく引き伸ばされた城下絵図の上を歩きながら、いまの町並みと比べてみるのも楽しいでしょう。

また城下町から近代都市への急激な変貌を遂げた街の姿を、多くの写真資料で知ることができます。また福井空襲・福井震災という、つらく困難な時代の歴史も伝えていかねばならない大切な要素です。実際に戦災・震災を経験された方々の体験談（映像）などによって、それらの恐ろしさ、そしてそこからのめざましい復興の過程を知ることができます。

「幕末維新の人物」

激動の江戸時代末期、福井藩は多くの優秀な人材を輩出しました。ここでは、人材の登用をはじめ藩政・幕政の改革に力を注いだ松平春嶽を中心に、橋本左内、由利公正、横井小楠、笠原白翁、日下部太郎、W.E.グリフィスといった人々を、ゆかりの品などとともに紹介しています。

＜松平家史料展示室＞

郷土歴史博物館には、福井藩や越前松平家、幕末の藩主松平春嶽に関する資料が多く保管されており、福井藩の歴史や大名家のくらし・文化を知ることができます。ここではそれらを展示替えしながらテーマに沿って展示します。年6回程度展示が変わりますので、来館のたびに新しい発見を味わっていただけます。

＜館蔵品ギャラリー＞

郷土歴史博物館では、寄贈・寄託された福井に関する数多くの歴史資料を保管しており、それらをこのギャラリーで紹介しています。

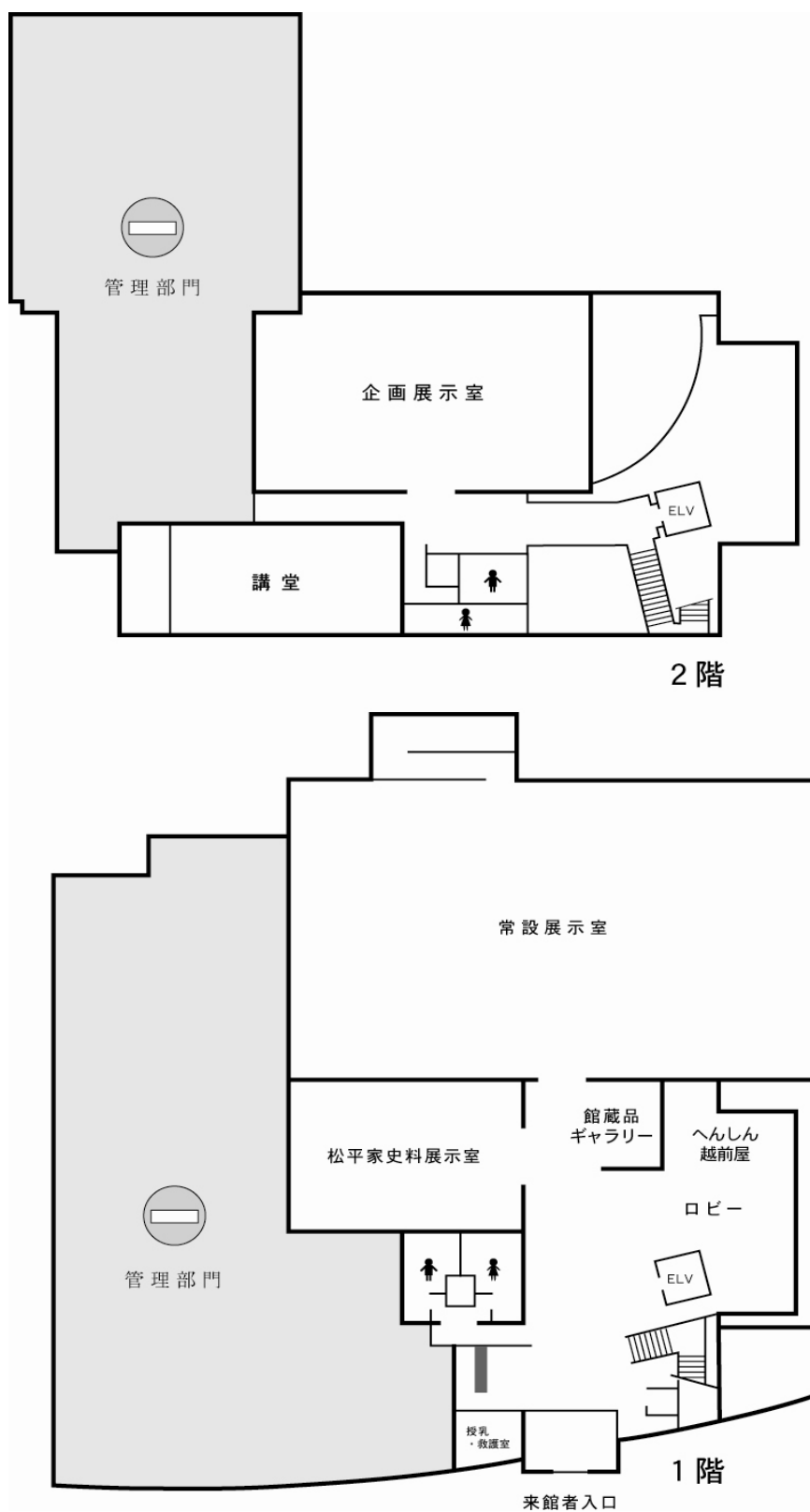
＜企画展示室＞

年3回程度特別展を開催し、普段はなかなか目にすることができない貴重な歴史資料や美術品を県内外から集め、児童・生徒の皆さんがすばらしい文化財に触れる機会を作ります。また、展覧会のテーマの理解や関心がより深まるような関連行事をあわせて行います。

＜へんしん越前屋＞

江戸時代の大名行列の武士の姿に変身できます。お殿さまの御乗物（駕籠）に乗ることもできます。

館内平面図



<福井城^{とねりもん}舎人門遺構>

江戸時代の福井城の門「舎人門」やその一帯を復原したのが「福井城舎人門遺構」です。博物館の建設に先立って発掘調査を行ったところ、福井城の北の外堀や石垣、土居、門の礎石、砂利敷き道路や水路、武家屋敷の跡などが見つかりました。そのときの調査成果や福井城下の絵図などをもとに、江戸時代の終り頃（１９世紀中頃）の様子を復原し、博物館の館外展示物として公開しています。



<名勝 養浩館庭園>

博物館の東に隣接する養浩館庭園は、旧福井藩主松平家の別邸で、書院建築と回遊式林泉庭園によって江戸中期を代表する名園の一つとして国の名勝に指定されています。



展示見学の際に使えるツール

【ツールその① [ワークシート](#)】

いろいろな資料を見つめる事で、気づいたり、疑問に思ったり、納得したりする―「モノとの対話」をお手伝いできるワークシートを目指して作成しました。主に常設展示室の見学の際に使用するシートです。利用目的（学年）別に3パターン、種類は少しずつ増やしていく予定です。

（１）スタンプラリー・・・小学校低学年以上

資料の特徴などをヒントに、なぞの歴史資料を探していくという内容のワークシートです。歴史資料を見つけると、スタンプを押すことができます。各時代のコーナーと養浩館庭園を網羅しているので、初めて当館を訪れた人や、まだ歴史を習っていない低学年の児童でもゲーム感覚で楽しく展示室をめぐることができます。４種類ありグループや個人で自由行動の時間にも使っていただけます。

（２）モノ知りシート・・・小学校高学年以上

ある展示物について詳しく知りたいときに役立つワークシートです。展示物をよく観察し、解説を読んでシートを完成させます。シート裏面は持ち帰った後も資料として役立つ内容となっており、参考図書なども掲載しているので調べ学習にも利用できます。

（３）ヒストくんのノート・・・小学校6年生～中学生向け

教科書で勉強する歴史上の出来事やさまざまな動きについて、「では福井ではどうだったのか？」という視点で作られたワークシートです。設問に沿って自分の考えをまとめていく、という作業を通して福井の歴史を学びます。副読本的データを載せていますので、博物館での利用はもちろん、教室での授業の教材としても利用できるよう配慮しました。

[ワークシート一覧](#)

スタンプラリー (小学校低学年以上向き)	展示室内、養浩館庭園を巡る ①～④までの４種類
モノ知りシート (小学校高学年以上向き)	・せっかん（石棺）ってなんだろう？
	・奈良時代の地図を観察しよう（荘園絵図）
	・九十九橋をたんけん！（江戸時代の城下町）
	・むかしのまち並みにズームイン！（近代）
ヒストくんのノート (小学校6年以上向き)	・もし、古墳をつくるなら…
	・江戸時代・福井の城下町
	・明治維新と福井の人物たち
	・福井空襲について考える

利用方法：必要枚数をご準備します。使い方などについては、事前打ち合わせの際にご相談します。
見学前にあらかじめお渡しすることもできます。

各ワークシートのデータが[当館ホームページ](#)に掲載されていますのでご参照ください。

博物館利用の方法②

《体験学習プログラム》

むかしのものづくりを体験する学習プログラムです。ご希望の場合は2週間前までにご連絡ください。

体験学習プログラム①「へんしん越前屋の衣裳を着てみよう」

衣裳を着て「大名行列」の武士に変身する体験です。
見学と合わせて多人数でも体験することができます。

「大名行列」…行列の武士の格好（紋付羽織、一文字笠）

福井藩の大名行列を記録や当館所蔵の資料をもとに推定復元したものです。お殿さまの御乗物（駕籠）に乗ることもできます。



体験学習プログラム②「まが玉を作ろう」

古墳時代の製作方法と同じように、砥石で石を磨いてまが玉を作ります。砥石で形を整え、最後に紙やすり（耐水ペーパー）でつやを出し、紐やビーズを通して完成です。

作業のはじめに学芸員がまが玉の説明を行います。

小学校高学年で1時間程度かかります。

また砥石とともに水を使う作業になります。

対応可能人数 20人程度

適した服装：体操着

※人数分の材料費（100円）が必要となります。



博物館利用の方法③

《貸出し用教材を使う》

授業で利用する教材として、資料レプリカなどの貸し出しています。古墳時代の鏡や武具、奈良時代から戦後復興期までの福井市域の絵図や地図、その他教科書に出てくるような歴史資料のレプリカなどがあります。耐久性を考慮して作られたものですので、安心してお使いいただけます。絵図・地図は同じものが5点ずつあるので、教室でのグループ学習にも便利です。

利用する場合は、別添の「[貸出し用教材申込書](#)」にご記入いただき、教材の受け渡し及び返却は、博物館にて行います。

No	資料名	数量	内容
1	古墳時代の甲冑（福井市天神山7号墳出土品レプリカ）	1	製作当初の様子を推定復元したもの
2	古墳時代の盾（同上）	1	製作当初の様子を推定復元したもの
3	三角縁神獣鏡（福井市花野谷1号墳出土品レプリカ）	1	製作当初の様子を推定復元したもの
4	長屋王宅出土「阿須波里」木簡	1	出土時の状態の複製
5	道守荘の絵図天平神護2年（766年）	5	実物の約60％に縮小したもの
6	糞置荘の絵図天平宝字3年（759年）	5	実物大〈正倉院宝物〉
7	糞置荘の絵図天平神護2年（766年）	5	実物大〈正倉院宝物〉
8	高串荘の絵図天平神護2年（766年）	5	実物大〈奈良国立博物館蔵〉
9	福井城下絵図 安政3年（1856年）	5	実物大
10	福井城下眺望図 寛政期（1789～1800年）	5	実物大
11	福井名勝地図 明治31年（1898年）	5	実物大
12	福井市市街地図 昭和12年（1937年）	5	実物大
13	福井市街鳥瞰図 昭和8年（1933年）	5	実物大
14	戦後の福井市街地図 戦後復興期（昭和20年以降）	5	実物大
15	①江戸時代の貨幣	1	実物資料
	②江戸時代貨幣一覧	1	実物＋一部レプリカ
	③慶長小判・天保小判・万延小判（複製）	1	大きさ・形状を再現したレプリカ
16	江戸時代の藩札	1	寛文2年。現存藩札の中で最古期のもの
17	江戸時代の千両箱	1	重さを体験できる。付属品：小判6枚
18	江戸時代ののぞき眼鏡	1	絵を立体的に見る江戸時代の娯楽の道具
19	松平春嶽の子どもの頃の手形	1	紙にプリントしたもの
20	明治時代の福井新聞	1	明治23年10月1日福井新聞1枚
21	明治時代の地券	1	明治15年福井のもの
22	太平洋戦争の赤紙	1	鯖江市新横江地区に保管されていたもの

古代時代兜 1点

天神山7号墳から出土した古墳時代の甲と盾を、製作当初の様子を推定復原復元したものです。



古墳時代盾 1点



三角縁神獣鏡 1点

花ノ谷1号墳より出土した鏡より製作時の状態を推定復元したものです。青銅製で重量も感じることができます。

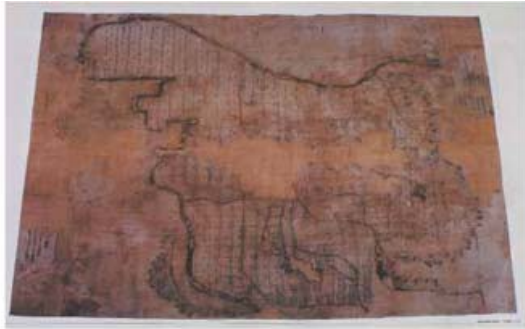


なお、このレプリカを作る際の鋳型から、石膏を流し込んで自分でレプリカを作ることができる体験学習用の鋳型を50個作り、貸出しております。出前授業も可能ですので、詳しくはお問い合わせ下さい。



長屋王宅出土「阿須波里」木簡 1点

福井の地名あすわ(阿須波)と記された木簡の製作当初の様子を推定復元したものです。



越前国足羽郡道守村開田図 天平神護2年 5点
実物の約60%の大きさのレプリカです。



足羽郡^{くそおき}糞置村開田図 天平宝字3(759)年 5点



坂井郡高串村東大寺大修羅区分田天平神護2年 5点

実物大のレプリカです。実物は奈良国立博物館に保管されています。

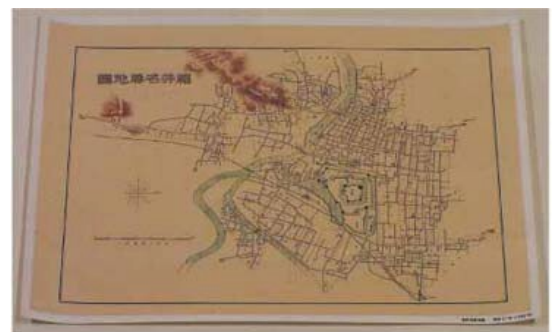


足羽郡糞置村開田図 天平神護2(766)年 5点

正倉院に納められている絵図の実物大レプリカです。

福井城下絵図
安政3年(1856)
実物大5点

福井城下を描いた
絵図のレプリカで
す。現在の福井市
中心部が昔どのよ
うな様子だったか
がよくわかります。



福井名勝地図 明治31年(1898) 5点



福井城下眺望図 寛政期(1789~1800年) 実物大5点
福井城下全体が眺望できる構図です。足羽川も描かれています。



福井市市街地図 昭和12年(1937) 5点
福井市中心部の変遷がよくわかります。



福井市街鳥瞰図 昭和8年(1933) 5点

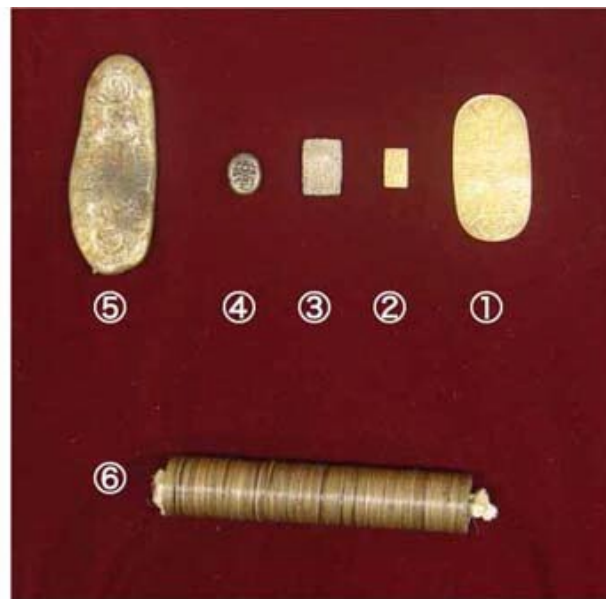


復興大福井新市街地図
戦後復興期(昭和20年以降) 5点



松平春嶽 手形 1点

松平春嶽の手形を紙にプリントしたものを、アクリル板で挟んでいます。



江戸時代貨幣 6種類

すべて実物です。

①天保小判（一両） ②天保一分金 ③天保一分銀

④安政両面大黒板銀 ⑤安政丁銀

⑥寛永通宝（100枚を麻紐に通したものの。一繕^{さし}=百枚=百文）



江戸時代の貨幣（ケース入）



慶長小判・天保小判・万延小判（複製）

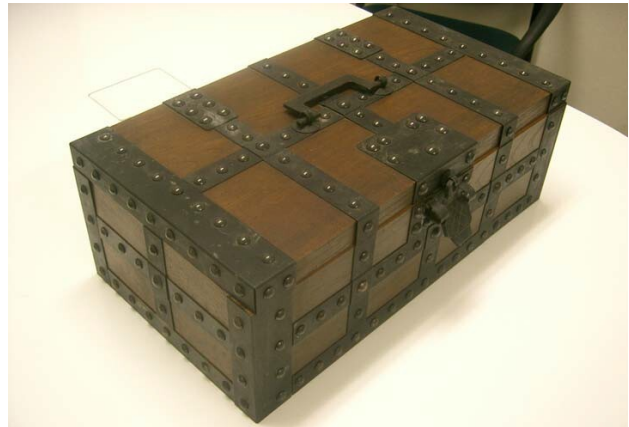
江戸時代藩札 2点

寛文2年（1662）。
現存する中で最古の
藩札です。



千両箱 1点

小判千両分の重さを再現しました。実際に持って
確かめることができます。



のぞき眼鏡 1点

「眼鏡絵」とよばれる細密な絵を立体的に見ることができる
道具です。江戸時代にヨーロッパから伝わりました。



新聞

明治23年10月1日 福井新聞 1枚



地券 明治15年福井のものレプリカ 1点 表

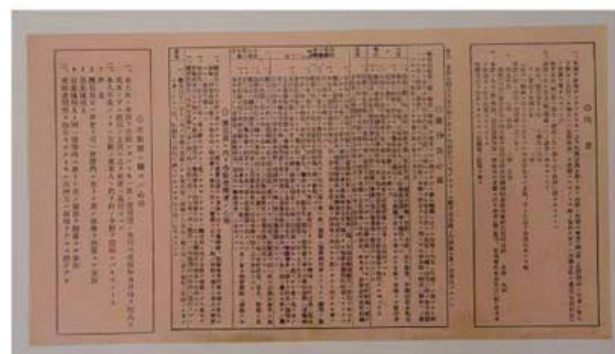


裏

赤紙 現在の鯖江市横江地区に保管されていたもので、未発例の形態も貴重。
1点



表



裏

博物館利用の方法④

《出張授業を利用する》

学芸員が学校へ出張授業を行います。先生と事前に打ち合わせし、できるだけご希望に沿った授業を一緒に作り上げて行きたいと考えております。お気軽にご相談ください。また、体験プログラムを学校へ出張して行うこともできます。鏡作りや勾玉作りは図工室などで作業させていただきます。

出張授業をご希望の際は、まずはお問い合わせください。学芸員の派遣が決まりましたら、「[職員派遣申請書](#)」（当館ホームページ掲載）をご提出ください。

福井市立郷土歴史博物館 博物館利用の手引き

令和7年6月1日改定

〒910-0004

福井県福井市宝永3丁目12-1

福井市立郷土歴史博物館

電話 0776-21-0489

FAX 0776-21-1489

Mail kyoudo@city.fukui.lg.jp

Web <https://www.history.museum.city.fukui.fukui.jp/>